

加古川専売所通信

2019 毎月15日前後に発行!

2月号

神戸新聞NEXT 先月のニュースをピックアップ

神戸新聞の紙面に掲載されたニュースの中で、専売所スタッフが、神戸新聞ならではの地域に密着したニュースを毎月選んでご紹介いたします。

詳しく内容を知りたいと思うニュースは、是非その日の神戸新聞の紙面をお読みください！

1月8日

新年の決意 はつらつと

東播地域の公立小中学校や特別支援学校で7日、3学期の始業式があった。【中略】加古川市立加古川小学校(加古川町木村)では、全校生843人に勝山真一校長が「お正月は何を願いましたか。3学期は次の学年への準備期間でもある。しっかりと行動してほしい」と呼び掛けた。教室では、子どもたちは宿題の書初めを提出し、新年の目標を発表した。6年2組では「テストで100点取る」「寒くても布団から出られるよう頑張る」といひいが決意を語り、教室に拍手が湧いた。満口凌太郎君(12)は「家族でクリスマスパーティーをしたり、初詣で偶然友達に会ったりして、小学校生活で一番楽しい冬休みだった。あいさつな生活の基本を大切にして6年間を締めくくり、中学校入学を迎える」と話していた。【後略】



Memo... 記事を読んで思ったことをメモしよう！



1月8日

避難所 積み木で個別空間

和気あいあいと、高校生が大きな積み木を組み立てていく。短時間で、腰や胸の高さに囲われた1畳ほどの空間が出来上がる。災害時の避難所などプライバシー確保に役立てられる、杉間伐材を用いた木製ブロック「つみっく」だ。2004年の新潟県中越地震を機に、松江市の男性が開発した。凸凹を組み合わせて自由な空間をつくり上げることができる。普及に力を入れるのは、小野市のNPO法人「つみっくらふ」。【中略】東日本大震災や熊本地震の被災地に届けたほか、普段は子どもの遊び場「秘密基地」として、親子向けの防災訓練にも活用する。昨年12月、兵庫大学(加古川市)であった災害模擬体験研修では、春に社会福祉学科へ進む高校3年生が触れた。「こんなに早くできるなんて」「低い壁でも落ち着けるね」。積み木がつくり出す安心空間に想像を膨らませた。【後略】



スタッフの
つぶやき

春らしい暖かさを感じる日もありましたが、またまた真冬のように凍える日もあり、本格的な春が持つきつい日々です。花粉症なので春が憂鬱なこともあったのですが、最近、花粉症がましまってきました。原因不明ですがこれまでますます春が持つきついです！



1月3日

かだいのいき
加古川で野球人として大切なことを学んだ。2018年11月、台湾、日本、韓国、台湾の若手野球選手が集まった。実戦経験を積むアジア・ウインターリーグに、中日ドラゴンズの高松源選手(19)も出場した。左のバッターボックス。強くなりたい打球は...。【後略】



中日ドラゴンズ

今月の一枚



かこがわ暮らしの情報掲示板
毎月のお支払いを

簡単 便利 おトクな 口座自動振替にしませんか？

毎月のお支払いが自動でラクラク♪
さらにカード払いならポイントが貯まってお得！詳しくは下記販売店まで

株式会社 加古川専売所 加古川市米田町平津46-18 mail:kakogawa.senbaisho@gmail.com

TEL079-432-6888 FAX079-432-7991

HPはこちからお



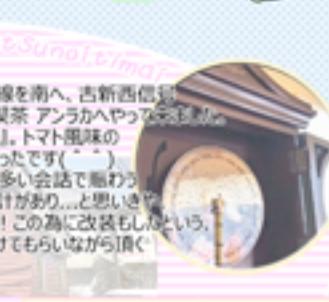
1月7日

アメフライ像制作、はっちやけてみた。軟体動物「アメフライ」の塑像が作成。現代アート作家灰野かうさん(16)。加古川市は紙粘土やセメントでひれや触角を形作って指先で丁寧に整え、絵具やペイントで色付けする。【後略】



1月6日

とさかから卵まで全てが命の程になる。加古川市八幡町下村の養鶏場「オクノ」の鶏舎を、約1万3千羽の鶏が埋め尽くす。両親、産みたての卵を手作業で集め、重い手押し車で卵を運ぶ。きつく単調な作業かと思いつか、石本裕美さん(26)にとっては変化に富んだ楽しい毎日だという。【後略】



喫茶 アンラカ

高砂市芦井町小松原5-8-10

☎079-443-7101

不定休

営業時間：8:00～19:00



かこがわ暮らしの情報掲示板